

メイク・アクションつる ふるさと自慢づくりコンテスト(お菓子部門)の作品

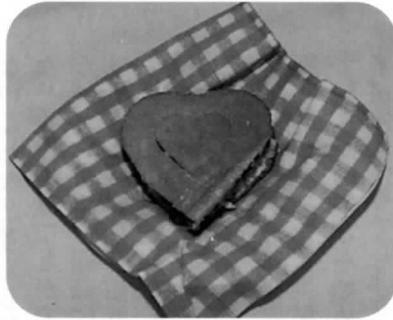
都留市では、産業及び地域の活性化を図るため、産業のまちづくり『メイク・アクションつる』を掲げその一事業として産業まつりに『ふるさと自慢づくり』と題して、主に地元で生産された農林産物などを利用したお菓子づくりコンテストを実施しました。多数出品されたお菓子は、どれも甲乙つけがたい見事なお菓子でした。今回は都留市戸沢の小林ゆみ佳さん(谷村第二小学校)の作品で、お母さんと楽しく作れる、愛情たっぷりのおいしいおやつです。

1個分

エネルギー	149キロカロリー
タンパク質	3.9グラム
脂肪	0.8グラム
カルシウム	19.5ミリグラム

《10個分材料》

小麦粉	100グラム
(A)	
卵	4個
砂糖	80グラム
(B)	
アオハタ大豆	100グラム
抹茶	適宜
砂糖	100グラム



お茶壺ケーキ

《作り方》

- ①Aを泡立て、小麦粉を加えて混ぜる。
- ②①を180℃に熱したオーブンで15分ぐらい焼く。
- ③Bのアオハタ大豆を30分～1時間浸しておき、柔らかく煮えたら砂糖を加え、味がなじんだら抹茶を加えあんを作ります。
- ④①が焼き上がったら型抜きをし、土台となる型にBのあんをはさみ、もう1枚のケーキの生地をのせ重ねる。

城下町奉行だより

夏休み中の少年非行防止

毎年夏休み中になると解放感から少年の非行事案が増加し、特にこの時期は、
○オートバイ、自転車などの乗り物盗や万引き、シンナーなどの薬物乱用事案
○夜遊び、暴走行為、飲酒、喫煙などの行為の増加が目立っています。
少年が非行に走る前には、生活態度や行動に必ず何らかの変化が現れるものです。家庭では、こうした状況をいち早く発見し、温かい「家庭の会話」「心のふれあい」を通じ、節度ある日常生活について、指導助言することが大切です。また、地域においては

- 少年の薬物乱用防止
 - 少年のたまり場の解消
- などを徹底する一方、少年の社会活動、スポーツ活動を推進し、少年が楽しい夏休みを過せるよう援助しましょう。

問合せ

警察本部生活安全企画課
☎055(2335)2121

伝言板

特定疾患医療費助成制度 更新のお知らせ

原因が不明で、治療法が確立していない病気をいわゆる難病といいます。そのうち、国の定めた難病(特定疾患)については、治療方法の研究を進めると同時に、患者さんの医療費の軽減を図っています。国の制度の見直しに伴い、次のとおり助成制度が変更になりました。

【変更のポイント】

- 生計中心者の所得に応じて自己負担額を決定する
- 都道府県間の転出入は届け出のみで継続受給が可能
- 臨床調査個人票の提出が毎年となったなど

【更新手続き日程及び場所】

八月二十日(水)
富士北麓・東部地域振興局 健康福祉部(大月保健所)
八月一日(金)
上野原町勤労者青年センター

※更新手続きに必要な書類、詳しい日程、時間などについては、通知をご覧ください。

問合せ 健康福祉部健康支援課

☎(22)7827

キノコ食中毒にご用心

食中毒の原因は細菌性と、小型球形ウイルスによるもので全体の約96%を占めます。一方、キノコの食中毒は全体の1%程度ですが、毒キノコによる食中毒は、毎年同じ様なキノコで発生しています。色や形、大きさなどの特徴を覚えましょう。

- ☆カキシメジ(毒)とチャナメツムタケ(食)
- ☆ツキヨタケ(毒)とムキタケ(食)

昨年度の大月保健所管内におけるキノコ食中毒は、クサウラベニタケ(毒)をウラベニホテイシメジ(食)と誤食。カキシメジ(毒)をサクラシメジ(食)と誤食した事例が発生しました。

※キノコの見分け方は難しいので、昔の言い伝え『縦に裂けるキノコは食べられる。毒キノコは鮮やかな色をしている。ナスと一緒に料理すれば食べられる。』に惑わされずに、自信のないキノコは、是非最寄りの保健所の衛生課までご相談してください。